

三郷市地域公共交通網形成計画 前期計画評価(案)

地域公共交通の構築に係る基本方針及び目標

1 地域公共交通に関する基本方針

【地域公共交通の基本理念】
 : まちとまちを結び、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現「三郷」

【地域公共交通に関する基本方針】
 (1)公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す
 (2)拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す
 (3)「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す

2 地域公共交通の目標

| 基本方針 | 評価指標 | 当初値 | 現状値 (R2年度) | 当初目標値 (R7年度) | 備考 |
|--|--------------------------|----------------|----------------|-----------------|----|
| (1)公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す | ①乗継拠点での機能強化の整備箇所数 | 1箇所 (三郷中央駅) | 2箇所 (市役所追加) | 7箇所 | ※1 |
| | ②運行情報案内の市民の満足度 | 27.3% | — | 35% | ※2 |
| (2)拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す | ③駅利用者数 (日平均、3駅合計) | 43,183人 | 35,328人 | 45,100人 | ※3 |
| | ④バス利用者数 (日平均) | 22,075人 | 16,585人 | 23,000人 | ※4 |
| | ⑤鉄道市民満足度 | 53.1% | — | 60% | ※5 |
| | ⑥路線バス市民満足度 | 26.1% | — | 35% | ※6 |
| | ⑦外出困難度 | 30.3% | — | 25% | ※7 |
| (3)「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す | ⑧地域公共交通利用促進活動事業実施回数 | — | 10回 | 8回 | ※8 |
| | ⑨商業施設等との連携による利用促進活動の導入件数 | — | 0件 | 2件 | ※9 |

- ※1 三郷駅、新三郷駅、三郷中央駅、三郷市役所、ピアラシティ、三郷北部地区、三郷南部地区の7箇所。
- ※2 運行情報案内の満足度(満足+やや満足)を年に約1%のペースで向上。
- ※3 平成37年駅利用者数=鉄道利用率31.5%(鉄道利用者数43,183人/日÷総人口137,940人)×平成37年推計人口143,290人(三郷市版人口ビジョン)≒45,100人
- ※4 平成37年バス利用者数=バス利用率16.05%(バス利用者数22,075人/日÷総人口137,940人)×平成37年推計人口143,290人(三郷市版人口ビジョン)≒23,000人
- ※5 鉄道の運行サービス満足度(満足+やや満足)を年に約1%のペースで向上。
- ※6 路線バスの運行サービス満足度(満足+やや満足)を年に約1%のペースで向上(概ね3人に1人が満足)。
- ※7 不便で困っている方の割合を概ね3人に1人から4人に1人の割合へ減少。
- ※8 乗り方教室や地域公共交通のPRや活性化イベントを、平成30年から年に1件のペースで実施。
- ※9 商業施設と連携した公共交通利用者に対するサービスを、2件(ららぽーと新三郷、ピアラシティ)で実施。

目標を達成するために行う具体的な事業

1 事業一覧

| 基本方針 | 事業メニュー | | 評価 | スケジュール（案） | | | | | | | | | |
|---|----------------------|-------------------------|----|-----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 前期 | | | 後期 | | | | | | |
| | | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
| (1) 公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す | 事業1 | 乗継拠点の機能強化 | ○ | ←→ | ←→ | | ←→ | | | | | | |
| | 事業2 | 待合環境の整備 | ○ | 上屋・ベンチの整備 | ←→ | ←→ | ←→ | | | | | | |
| | | | | バスまち・まち愛スポットの整備 | ←→ | ←→ | | | | | | | |
| | 事業3 | 主要バス停の分かり易い停留所の整備 | — | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| | 事業4 | サイクルアンドバスライドの推進 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| | 事業5 | 運行情報提供の充実・改善 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| 事業6 | 交通系ICカードの導入検討 | — | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| (2) 拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す | 事業7 | 鉄道輸送の利便性及び安全性向上 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| | 事業8 | 幹線公共交通軸の品質向上と維持・充実 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| | 事業9 | まちづくりの進捗等に合わせた路線バスの再編検討 | ○ | まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討 | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| | | | | 地域との協働による路線バスの再編検討 | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| | | | | 陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討 | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| | 事業10 | 路線バスの走行環境の改善 | ○ | 駅前広場における路線バス走行環境の改善 | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ |
| 路線バスの走行環境向上策の展開 | | | | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | | |
| 事業11 | 高速バスによる羽田・成田空港への運行検討 | — | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| 事業12 | バス運転手の確保・育成 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| (3) 「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す | 事業13 | 商業施設との連携事業 | — | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| | 事業14 | 運転免許自主返納制度の導入検討 | — | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |
| | 事業15 | モビリティ・マネジメントの実施 | ○ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | ←→ | |

※凡例

評価 ○：実施
—：未実施

←→：検討・協議
←→：実施
←→：検討協議後順次実施

2 各事業詳細

基本方針1：公共交通機関が相互に連携した「使いやすい」「分かりやすい」公共交通サービスを目指す

【事業1】乗継拠点の機能強化 実施主体：三郷市、バス事業者

乗継拠点となっている「三郷駅」「新三郷駅」「三郷中央駅」「三郷市役所」「ピアラシティ」の5ヶ所について乗継案内、公共交通機関の乗り場案内、乗り場での行き先表示やルールアンドバスライドの整備について充実するとともに、訪日外国人向けの多言語化表記や、乗継抵抗の軽減に資する乗継時間や運賃負担などについて検討する。なお、「三郷北部地区」「三郷南部地区」については、周辺まちづくり等の状況等を踏まえ、中長期的な視点で整備を検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：平成31年4月、三郷市役所本庁舎入口にデジタルサイネージを設置。設置したデジタルサイネージについて、多言語表示（英語は平成31年4月から、中国語（簡体字）・韓国語は令和元年11月から）にも対応。

今後の方向性（案）

現状乗継拠点として機能している、「三郷駅」「新三郷駅」「ピアラシティ」の3箇所について、重点的な整備を検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|-----------|-----------|--------|--------|--------------|--------------|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 乗継拠点の機能強化 | ← 検討・協議 → | | | ← 検討・協議後実施 → | | | | |
| | | | ← 実施 → | | | | | | |
| 見直し（案） | | ← 検討・協議 → | | ← 実施 → | | ← 検討・協議後実施 → | | | |

令和2年度紙上会議意見

- ・乗継抵抗の軽減に資する乗継時間や運賃負担の検討等に関する記述も必要ではないか。
- ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- ・“地域公共交通の目標値（R7年度）を設定していますが、この目標値を達成すると、どうなるのか？どう変わるのか？という視点があると良いと思います。
満足度はともかく、例えば評価指標の場合、①の箇所を増やすことによって、何が達成されるのか？7箇所が妥当なのかというのが説明出来れば良いと思います。”
- ・乗継拠点の1つである三郷市役所ですが、健康福祉会館に用事のある高齢者や障がい者には便が良くありません。三郷市社協の集まりに参加した際、ある参加者が言われた意見ですが、高齢者や身体の不自由な方には本庁舎のバス停から歩くことがどんなに大変であるか、熱を込めて発言されました。グローバル交通のときは健康福祉会館にもバス停がありましたが、廃止されてしまいました。健康福祉会館には福祉部や子ども未来部があり、高齢者や障がい者も来庁されます。健康診断や赤ちゃん検診もありますので、バス停を復活されるよう、ご尽力をいただきたいと思います。
- ・外国人向け表記は必要。日本人より公共交通機関を利用することが多いと思うので、素晴らしい取り組みです。

【事業2】待合環境の整備 実施主体:三郷市、地域、埼玉県、バス事業者

待合環境の設置について、幹線公共交通軸上で医療機関や商業施設など利用が多い停留所については、優先順位を付けながら計画的に整備を進める。また、公共・民間施設を活用した拠点スポットの整備（「バスまちスポット」「まち愛スポット」登録制度の活用など）について、施設管理者と連携・協力し、利用者が安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを順次進める。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：○上屋・ベンチの整備

令和2年3月に三郷駅南口7か所のバス停について、老朽化したベンチを撤去し新設。

平成30年6月に、陸上競技場の整備に合わせ上屋及びベンチの設置。

○バスまち・まち愛スポット

令和元年7月までに3か所（ピアラシティ交流センター、ファミリーマート三郷かまくら店、三郷市役所）を登録。

今後の方向性（案）

上屋・ベンチの整備について、引き続きバス事業者や施設管理者と協議し、利用者が多い停留所の整備を検討する。

バスまち・まち愛スポットについては、計画期間満了のため終了とするが、施設整備や要望があれば随時検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | | | |
|--------|-----------------|-----|----|-------|------|----|----|----|----|----------|---|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
| 計画 | 上屋・ベンチの整備 | ← | | | 順次整備 | | | | | → | |
| | バスまち・まち愛スポットの整備 | ← | | | 順次整備 | | | | | | |
| 見直し（案） | 上屋・ベンチの整備 | ← | | 検討・協議 | 実施 | ← | | | | 検討・協議後実施 | → |
| | バスまち・まち愛スポットの整備 | ← | | | 順次実施 | | 検討 | | | | |

令和2年度紙上会議意見

- ・上屋・ベンチの整備について、設置対象の停留所数に対して何カ所整備した等、事業の進捗状況がわかるような記述をしたら良いのではないかと。
- ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- ・上屋・ベンチの整備ありがとうございます。八王子市の京王バスのバス停には、道路側に透明の防水版張られ、雨天時に車からの水はね防ぐことができ、安心してバスを待つことができます。費用がかかり、簡単ではないと思いますが、ご検討ください。
- ・お年寄りや体の不自由な方にはベンチは重要。整備を継続してくれることはありがたい。

【事業3】 主要バス停の分かり易い停留所の整備 実施主体:三郷市、バス事業者

鉄道駅周辺など複数のバス事業者が運行中の地域においては、停留所を1箇所に集約するなど、共通の時刻表・路線図などを掲出するなど、分かり易い情報提供を行う。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：未達成

成果： 既存の取り組みとして、三郷中央駅の改札前に、各バス停の時刻表を集約して電光掲示している。停留所の集約については、実施主体となる各バス事業者と具体的な事業を検討・調整し、実施を目指す。

今後の方向性（案）

【事業1】、【事業5】と連携し、引き続き検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|----------|-----------|-----------|----|----|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 主要バス停の整備 | ← 協議後実施 → | | | | | | | |
| 見直し（案） | | | ← 協議後実施 → | | | | | | |

ご意見欄

- ・未実施となった理由、課題等を記述した上で、今後の方向性を記述した方が良いのではないかと考えております。
- ・この内容でよろしいかと考えておりますが、実施に当たっては、どのような基準・指針でバス停を選定するのか含めよく議論させていただきたいと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況でございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- ・後期は、特に何もしないということでしょうか。（スケジュールに矢印がありません。）
- ・停留所の集約に伴い停留所が移設になる場合、その位置の選定にあっては交差点や横断歩道との距離間隔を考慮し、警察との協議を実施してください。

【事業4】 サイクルアンドバスライドの推進 実施主体: 三郷市、バス事業者

サイクルアンドバスライドの継続的な周知PRを実施していくとともに、設置箇所の拡大や利用環境（清掃等）の改善について関係機関と協議・調整を図りながら検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：設置箇所の拡大について、検討を行ったが、候補地なし。

利用環境の改善について、水路整備により1箇所減となったが、バスガイドマップや看板の設置、広報への掲載などPRを実施。また、放置自転車等の撤去についても年1～2回程度実施。今後も継続的に実施を予定。

今後の方向性（案）

設置箇所の拡大について、計画期間満了のため終了とするが、施設整備や要望があれば随時検討する。利用環境の改善について、今後も継続的にPR及び維持管理を実施予定。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|-----------------|------------|----|----|------------|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | サイクルアンドバスライドの推進 | ← 設置箇所検討 → | | | ← 実施 → | | | | |
| 見直し（案） | | ← 設置箇所検討 → | | | ← 環境改善実施 → | | | | |

ご意見欄

- ・設置箇所の拡大に関する今後の方向性も記述した方が良いのではないかと。
- ・内容でよろしいかと考えております。
- ・「・・・調整を図りながら検討する。」とありますが、スケジュールだと実施となっています。何をしようか？（「検討を実施する」ということ？）
- ・バス路線が減少する中、サイクルアンドバスライドはよいと思います。長い距離を自転車で移動することが大変な人には便利だと思いますので、PRも含めて推進して欲しいと思います。
- ・サイクルアンドバスライド自体がよくわからない。

【事業5】 運行情報提供の充実・改善 実施主体:三郷市、バス事業者

「バスガイドブック」の継続的な作成・配布や、「総合時刻表」の作成、公共施設や医療機関などが主要停留所への路線図の掲載、乗継拠点での運行情報案内システムの設置などを行うとともに、現在国で実用化を推進している公共交通に関する「オープンデータ」による運行情報検索や駅等の施設情報など、より分かり易い情報提供の充実・改善について検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：例年バスガイドブック・マップを作成し、市内公共施設及び鉄道駅にて配布。バス事業者においては、東武バスセントラル(株)・京成バス(株)・京成タウンバス(株)はバスロケーションシステムを導入済み。

今後の方向性（案）

引き続きバスガイドブック・マップの作製・配布を実施する。「総合時刻表」、主要停留所の整備については、【事業1】、【事業3】などと連携し、検討する。「オープンデータ」については、導入にかかる課題を整理し、デジタルサイネージ等での活用について検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | | |
|--------|------------------|--------|----|----|----|----|----|----|----|--|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 計画 | 運行情報提供の 充実・改善 | ← 実施 → | | | | | | | | |
| 見直し（案） | | ← 実施 → | | | | | | | | |

ご意見欄

- ・「例年バスガイド・マップを作成し、〇〇に配布。」等の記載にした方が良いのではないか。
- ・『「総合時刻表」、「オープンデータ」については引き続き検討する。』としているが、何を検討するのか記載した方が良いのではないか。
- ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況でございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- ・「・・・改善について検討する。」とありますが、スケジュールだと実施となっています。何をしようか？（「検討を実施する」ということ？）
- ・ガイドブック・マップに余分がありましたら、警察署へ少々提供をお願いします。
- ・マップは大事だと思う。

【事業6】交通系ICカードの導入検討 実施主体:三郷市、バス事業者

交通系IC導入へ向けて、導入費用などの支援制度の検討などを進めていくとともに、定額の乗り放題チケット（期間限定など）等の導入について検討を行っていく。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：未達成

成果：交通系ICではないが、埼玉観光(株)において電子マネーWAONによる決済を導入。

今後の方向性（案）

交通系ICカードは、導入コストや費用対効果などの課題ある。MaaSといった新たな考え方も参考にし、今後は交通系ICカード、定額の乗り放題チケット（期間限定など）だけでなく、その他キャッシュレス決済等の導入も含め、引き続き検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|---------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 交通系ICカードの導入検討 | | | | 検討 | | | | |
| 見直し（案） | | | | 検討 | | | | | |

ご意見欄

- ・定額の乗り放題チケット（期間限定など）等の導入についても記載した方が良いのではないかと。
- ・既に交通系IC導入事業者につきましては、コロナ禍による厳しい経営環境下、新たな設備投資は最大限抑制したいと考えておりますので、その他キャッシュレス決済の導入は見合わせたいと考えております。
- ・「決裁」と「決済」が混同しています。
- ・ICカードはぜひ導入してもらいたい。

基本方針2：拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指す

【事業7】鉄道輸送の利便性及び安全性向上 実施主体：鉄道事業者、三郷市

鉄道事業者においては、輸送力の増強、定時運行の確保を図り、バリアフリー化などあらゆる利用者の利便性・安全性向上を図る。また、三郷市においては、利便性の高い移動手段の確保、快適に安心して駅を利用できるように関係機関に働きかけを行う。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：JR 武蔵野線についてはダイヤ改正、新三郷駅のエレベーター改修を実施。TXについてはダイヤ改正、新型車両の導入を実施。また、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及びつくばエクスプレス沿線都市連絡協議会を通じて要望活動を実施。

今後の方向性（案）

引き続き各実施主体が事業目標達成に向け取り組む。三郷市は各駅の利便性向上について検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|-----------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 鉄道輸送の利便性及び安全性向上 | | | | 実施 | | | | |
| 見直し（案） | | | | 実施 | | | | | |

ご意見欄

・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍で交通事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。

【事業8】 幹線公共交通軸の品質向上と維持・充実 実施主体:三郷市、バス事業者

幹線公共交通軸上の路線バスについて停留所の高度化による待合環境強化や、低床バス導入によるバリアフリー化、乗継拠点での乗継利便性向上、サイクルアンドバスライド導入促進などを検討し、一層の利用促進を図っていく。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：三郷市内における低床バス導入率100%を達成。

今後の方向性（案）

引き続き路線バスの品質向上と維持・充実に取り組む。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|---------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 幹線公共交通軸の品質向上と維持・活性化 | | | | 実施 | | | | |
| 見直し（案） | | | | 実施 | | | | | |

ご意見欄

- ・「引き続き路線バスの品質向上と維持・充実に取り組む。」としてはどうか。
- ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。

【事業9】まちづくりの進捗等に合わせた路線バスの再編検討

【事業9-1】まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、バス事業者

三郷インター南部南地区では、土地区画整理事業によるまちづくりの整備が、また、三郷南部地区では、近隣型の商業・業務機能の集積に向けた検討を行っており、これらまちづくりの事業進捗や道路整備に合わせて、路線バスの再編について検討する。

【事業9-2】地域との協働による路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、地域、バス事業者

公共交通空白・不便地域や路線バスの再編に対するニーズが高い地域を対象に、地域が主体となって議論する地域勉強会を開催し、路線バスの再編について検討する。また、事業スキームなど地域公共交通を支える仕組み・体制づくりなどについて検討する。

【事業9-3】陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討 実施主体:三郷市、バス事業者

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでの活用を検討している陸上競技場の整備を進めている。陸上競技場が整備されることにより、公共交通の利用者が見込まれるため、バス停の設置や路線バス網の整備について検討するとともに、各種交流事業と地域公共交通との連携についても検討する。



前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：「9-1」について、具体的な再編予定はまだないが、三郷インター南部南地区区画整理の進捗に合わせて、バス事業者と情報共有を実施。

「9-2」について、成果なし。しかし、既存バス事業者の撤退に伴い代替交通の導入を実施。

「9-3」について、マイスカイ交通(株)が陸上競技場前にバス停を新設。上屋については市が整備を実施。

今後の方向性（案）

「9-1」について、情報提供にとどまらず、継続して検討を実施。また、三郷北部地区（三郷吉川線沿線）や、その近隣における三愛会総合病院の移転計画、都市計画道路の整備（駒形線・三郷流山線）も進んでいるため、事業の進捗などの情報を協議会内で共有することと併せ、引き続き路線バスの再編について検討する。

「9-2」について、地域ニーズ把握のため、アンケートを実施し、結果を基に再編について検討する。

「9-3」について、整備済み。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | | |
|------------|-----------------------------|-----------|-----------|----|--------|----|----|----|----|---|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 計画 | まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討 | | ← 検討・協議 → | | ← 実施 → | | | | | |
| | 地域との協働による路線バスの再編検討 | ← | | | 検討 | | | | | → |
| | 陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討 | ← 実施 → | | | | | | | | |
| 見直し (案) | まちづくりや道路整備の進捗に合わせた路線バスの再編検討 | | ← 検討・協議 → | | | | | | | |
| | 地域との協働による路線バスの再編検討 | ← 検討 → | | | ← 実施 → | | | | | |
| | 陸上競技場の整備に合わせた路線バスの再編検討 | ← 検討・実施 → | | | | | | | | |

ご意見欄

- ・「駒形線や三郷流山線も事業が進んでいる。」について、何の事業が進んでいるのか明記した方が良いのではないかと。
- ・成果なしの理由・課題・進捗状況等を記述した方が良いのではないかと。
- ・他自治体の公共交通活性化協議会でも「再編」という表現が出てまいりますが、ほとんどの項目で触れさせていただいておりますが、コロナ禍による経営環境が厳しさを増している中、目的や収支の変化をよく吟味する必要があると考えております。例えば、「公共交通空白・不便地域」において勉強会を開催し検討する、とされておりますが、そういうエリアの住民の方々は、当然「バス路線が欲しい」となります。しかしながら、「バス路線が欲しいとおっしゃる人」＝「実際にバスを利用する人」とならないことは、これまでの経験からも明白でございます。それでも、これまでは自社の他事業により得られた利益により、このような地域貢献的な路線の運営も不可能ではありませんでした。しかし、コロナ禍・アフターコロナにおきましては、現行の路線すら、輸送力を維持できるか不透明な状況下でございます。このため、仮に「公共交通空白・不便地域」へバス路線を新設する際には、運行により生じた赤字を完全に行政や地元等でご負担いただくこと、のみならず、路線新設により既存路線の利用者が減少したと判断される場合には、その赤字についても補填いただくこと、が重要になってまいります。まずは、今の路線網や系統ごとの便数や利用状況、各社の経営状況といった現況を細かく精査・分析し、本当に再編の検討まで行うべきか否かを判断することが肝要かと考えておりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。
- ・現在、みさと団地内にある三愛会総合病院が、県道葛飾吉川松伏線沿いに引っ越すことから、市民の利便性を考え、検討されてみてはいかがでしょうか？

【事業10】路線バスの走行環境の改善

【事業10-1】駅前広場における路線バス走行環境の改善 実施主体:三郷市、埼玉県警察、バス事業者、タクシー事業者

三郷駅、新三郷駅及び三郷中央駅の各駅前広場について、路線バスの安全な走行環境を確保するよう、送迎車両に対する交通規制や歩行者への注意喚起のサインの設置などについて検討する。

【事業10-2】路線バスの走行環境向上策の展開 実施主体:国土交通省、埼玉県、三郷市、埼玉県警察、バス事業者

バス事業者から遅延や危険な箇所として指摘があった箇所については、交差点改良や道路整備などを進めるとともに、路線バスの定時性・速達性の向上に資する信号制御などの施策について検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：「10-1」について、三郷駅南口・新三郷駅西口、三郷中央駅において路面標示（白線等）の修繕を実施。また、三郷駅南口のバス停に、一般車向けの駐停車禁止看板の設置を実施。

「10-2」について、関東運輸局が主導となり、バス事業者・道路管理者でバス停留所の安全性確保対策を実施中。

今後の方向性（案）

引き続き事業を実施予定。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|---------------------|-----------|-----------|-----------|--------|----|--------|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 駅前広場における路線バス走行環境の改善 | ← 検討・協議 → | | | | | ← 実施 → | | |
| | 路線バスの走行環境向上策の展開 | | | | ← 実施 → | | | | |
| 見直し(案) | 駅前広場における路線バス走行環境の改善 | | | ← 検討・実施 → | | | | | |
| | 路線バスの走行環境向上策の展開 | | ← 協議・実施 → | | | | | | |

ご意見欄

・路面標示（白線等）の修繕や駐停車禁止の看板設置について、効果検証結果に基づく今後の方向性を記述した方が良いのではないかと。

・「バス停留所の安全確保対策」以外の施策についても記述した方が良いのではないかと。

・バス停留所の安全性確保対策は、バスの走行環境を改善するという目的ではなく、バス停留所の安全性を確保することを目的に実施しているものだと思います。そのため、交差点改良や道路整備などと同じ括りで記載するのは妥当ではないと考えます。

・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。

・「・・・について検討する。」とありますが、スケジュールだと実施となっています。何をするのでしょうか？（「検討を実施する」ということ？）

・普段の道路状況はバス運転手がよく把握していると思いますので、危険箇所等を効率よくバス会社から吸い上げて適切に対応・対策をお願いいたします。

【事業11】 高速バスによる羽田・成田空港への運行検討 実施主体:三郷市、バス事業者

外環道（三郷南IC～高谷JCT）の開通に伴い、羽田空港、成田空港への交通アクセスが格段に向上するため、鉄道3駅（三郷駅、新三郷駅、三郷中央駅）に停車する高速バスの運行について検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：未達成

成果：バス事業者と協議するも、採算性等の課題があり運行開始には至らなかった。

今後の方向性（案）

コロナ禍の影響により、近隣を走行する空港行のバスは運休・減便等の対応を実施しており、厳しい状況にあると推察する。事業継続の必要性も含め、引き続き検討する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | | |
|--------|----------------------|-----------|----|-----------|----|--------|----|----|----|--|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 計画 | 高速バスによる羽田・成田空港への運行検討 | ← 検討・協議 → | | | | ← 実施 → | | | | |
| 見直し(案) | | | | ← 検討・協議 → | | | | | | |

ご意見欄

- ・運行開始に至らなかった理由・課題等も記述した方が良いのではないかと。
- ・今後の航空需要が不透明であること、人口14万人の単一自治体のみを発着する空港アクセスバスとしては収支が償えない可能性があること（東武さんは柏市+流山市発着の羽田線ですら、コロナ禍で全便運休中）、等を踏まえますと、三郷市様からの赤字補填等がない限り実現性は低いものと思慮いたします。
- ・「・・・について検討する。」とありますが、スケジュールだと実施となっています。何をするのでしょうか？（「検討を実施する」ということ？）
- ・今後、空港までの利用者が増えれば高速バスも運行してもらえらると思う。

【事業12】 バス運転手の確保・育成 実施主体:三郷市、バス事業者

三郷市で実施中の「合同企業面接会」やバス運転士に特化した就職博の開催など、バス事業の魅力や社会的な重要性を周知するための確保方策について検討する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：「合同企業面接会」に参加。（令和2年度はコロナ禍による規模縮小等により、バス事業者不参加。）

今後の方向性（案）

引き続き「合同企業面接会」に参加し、バス運転手の確保・育成を目指す。併せてバス事業の魅力や社会的な重要性を周知するために、【事業15】と連携し、イベント等での周知を行う。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|-------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | バス運転手の確保・育成 | | | | 実施 | | | | |
| 見直し（案） | | | | | 実施 | | | | |

ご意見欄

- ・令和2年度にバス事業者が参加できなかった理由も記述した方が良いのではないか。
- ・『「合同企業面接会」に参加』を『「合同企業面接会」を開催』とした方がよいのではないか。
- ・本事業の内容は、「確保方策の検討」となっているので、「確保方策の検討」に関する記述も必要ではないか。
- ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- ・「・・・について検討する。」とありますが、スケジュールだと実施となっています。何をするのでしょうか？（「検討を実施する」ということ？）

■基本方針3：「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立を目指す

【事業13】商業施設との連携事業 実施主体：三郷市、バス事業者、市民団体、企業

新三郷駅やピアラシティ周辺等の商業施設及び地元商店会と連携し、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符等を検討する。また、市役所やピアラシティ交流センターなど公共施設で実施するイベントの参加について、公共交通利用の案内を掲載するなどの利用促進活動の検討を行う。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：未達成
 成果：成果なし。

今後の方向性（案）

今後の事業実施に向け、各実施主体と検討・協議する

| | | 前期 | | | 後期 | | | | | |
|--------|------------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|--|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| 計画 | 商業施設との連携事業 | ← 検討・実施 → | | | | | | | | |
| 見直し（案） | | ← 検討 → | | | | | | | | |

ご意見欄

- ・成果なしの理由や課題等を記述した方が良いのではないかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況にございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。

【事業14】 運転免許自主返納制度の導入検討

実施主体：三郷市、埼玉県警察

高齢者の交通事故の抑制と公共交通の利用促進を図るため、シルバーサポーター制度の周知等警察と協働で返納制度を推進していく。また、各バス会社で取り組んでいる高齢者限定乗車券の購入促進などを図っていく。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：未達成

成果：シルバーサポーター制度や、各バス会社で取り組んでいる高齢者限定乗車券の販売等の取組について、市ホームページ等で既に案内を実施しているが、制度の拡充については進捗なし。

今後の方向性（案）

既存取り組みの促進を図るとともに、今後の事業実施に向け、効果的な方法を各実施主体と検討・協議し、実施を目指す。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|---------------------|-----|----|----|-------|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | 運転免許自主返納 制度の導入検討 | | | | 検討・実施 | | | | |
| 見直し（案） | | | | 検討 | | | | | |

ご意見欄

- 成果なしの理由や課題等を記述した方が良いのではないかと。
- 当社は既に同制度を導入しております。
- 高齢者対策について、新しい施策・事業等の情報があれば逐次提供をお願いします。

【事業15】モビリティ・マネジメントの実施 実施主体:三郷市、地域住民、バス事業者

公共交通マップの作成・配布など、運行情報提供の充実・改善を図っていくとともに、小・中学生や高齢者等を対象にした乗り方教室の開催や、路線バスの利用促進のためのスタンプラリーの実施など、公共交通の利用啓発や潜在需要の掘り起こしのための施策を実施する。

前期計画の評価及び成果（案）

評価：達成

成果：バス乗り方教室（H30～R2・各年2回）・交通防犯フェア（H30、H31）・ららほっとにおいて展示（H30,R1）を実施。（累計10回）

今後の方向性（案）

今後も継続して取り組みを検討し実施する。

| | | 前期 | | | 後期 | | | | |
|--------|-----------------|-----|----|----|-------|----|----|----|----|
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 計画 | モビリティ・マネジメントの実施 | ← | | | 検討・実施 | | | | → |
| 見直し（案） | | ← | | | 検討・実施 | | | | → |

ご意見欄

- ・「今後も継続して取り組みを検討」を「今後も継続して取り組みを検討し実施する」としてはどうか。
 - ・バスの乗り方教室の報告について、乗り方教室の参加によりバスが嫌いになった生徒が1名いたことは残念です。回答理由はわからないかもしれませんが、開催時において思い当たることはなかったか当時の関係者に確認する等、今後の開催にあたって改善できるよう努めることが重要だと思います。（気まぐれによる回答かもしれませんが…。）バスを利用したバリアフリー教室については、バス協会でも運輸支局等と連携し、各地のイベント等で実施しておりますので、留意事項として情報共有いただくと本事業の取り組みの向上に繋げることができるのではないかと思います。
 - ・この内容でよろしいかと考えております。コロナ禍でバス事業者の経営は極めて厳しい状況でございますので、事業者負担がない形での事業推進をお願いいたします。
- バスの乗り方教室はとても良い事業だと思います。アンケートにもあったように、子どもたちがバスを身近に感じられる素晴らしい機会だと思います。継続するべき取り組みだと思います。